

取扱説明書

INVENT-SH シェルフデスク

デスク DSH-S1206G(C)(N)※-□□(H900)

デスク DSH-S1006G(C)(N)※-□□(H900)

デスク DSH-S1206M(C)(N)※-□□(H720)

デスク DSH-S1006M(C)(N)※-□□(H720)

※N：センター引き出しなし C：センター引き出しあり

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書は、この製品の組み立てかたと使いかたおよび使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

	ページ
1. 安全上のご注意	②
2. 未永くご使用いただく ためのご注意	③
3. 組立上の注意と 部品の確認	④
4. H720の組み立てかた(施工作业される 方がお読みください)	⑤
5. H900の組み立てかた(施工作业される 方がお読みください)	⑦
6. センター引き出し(オプション)の 組み立てかた	⑨
7. カバンフック(オプション)の 組み立てかた	⑨
8. 使いかた(センター引き出しのみ)	⑩
9. お手入れのしかた	⑩
10. 故障かな?と思ったら(不調診断)	⑩
11. 仕様	⑪
12. 天板の高さ変更のしかた(製品を購入 された方がお読みください)	⑫

施工作业される方へ

この製品では、天板の取付位置を2種類
(H900mm・H720mm)から選べます。

取付位置は発注品番に指定されていますので、
確認してから施工作业を行ってください。

(G：H900mm、M：H720mm)

天板高さ 900mm

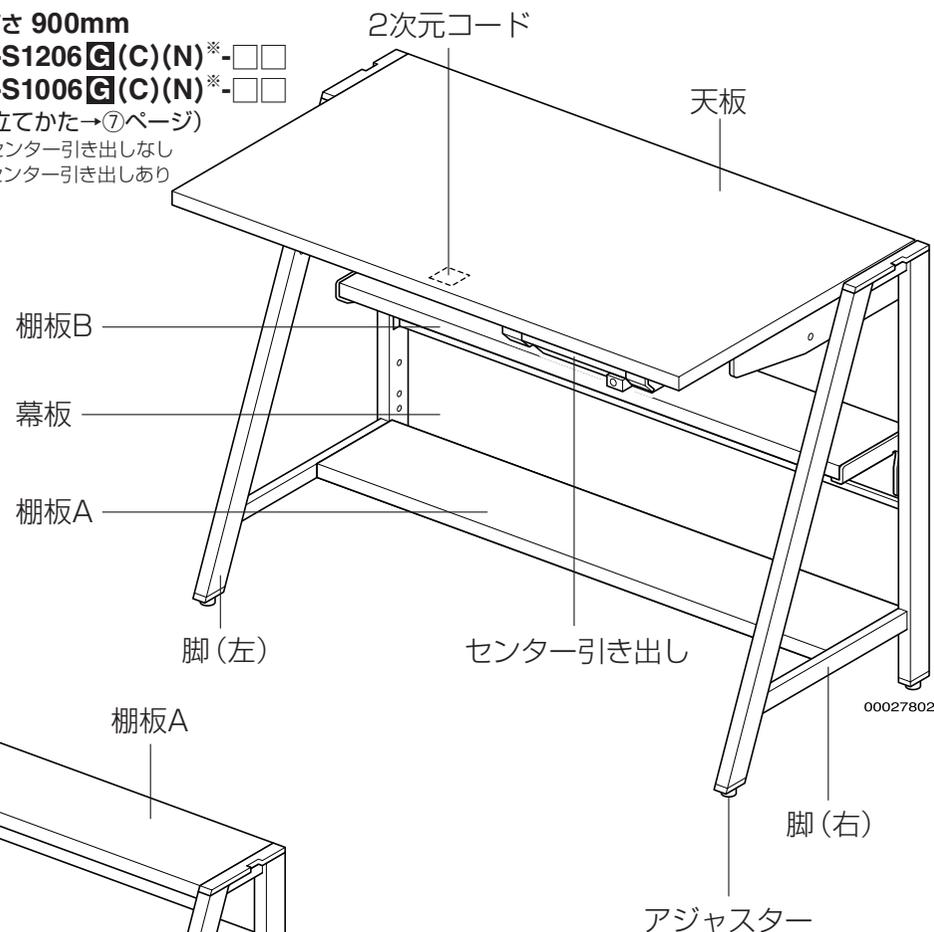
DSH-S1206G(C)(N)※-□□

DSH-S1006G(C)(N)※-□□

(組み立てかた→⑦ページ)

※N：センター引き出しなし

C：センター引き出しあり



天板高さ 720mm

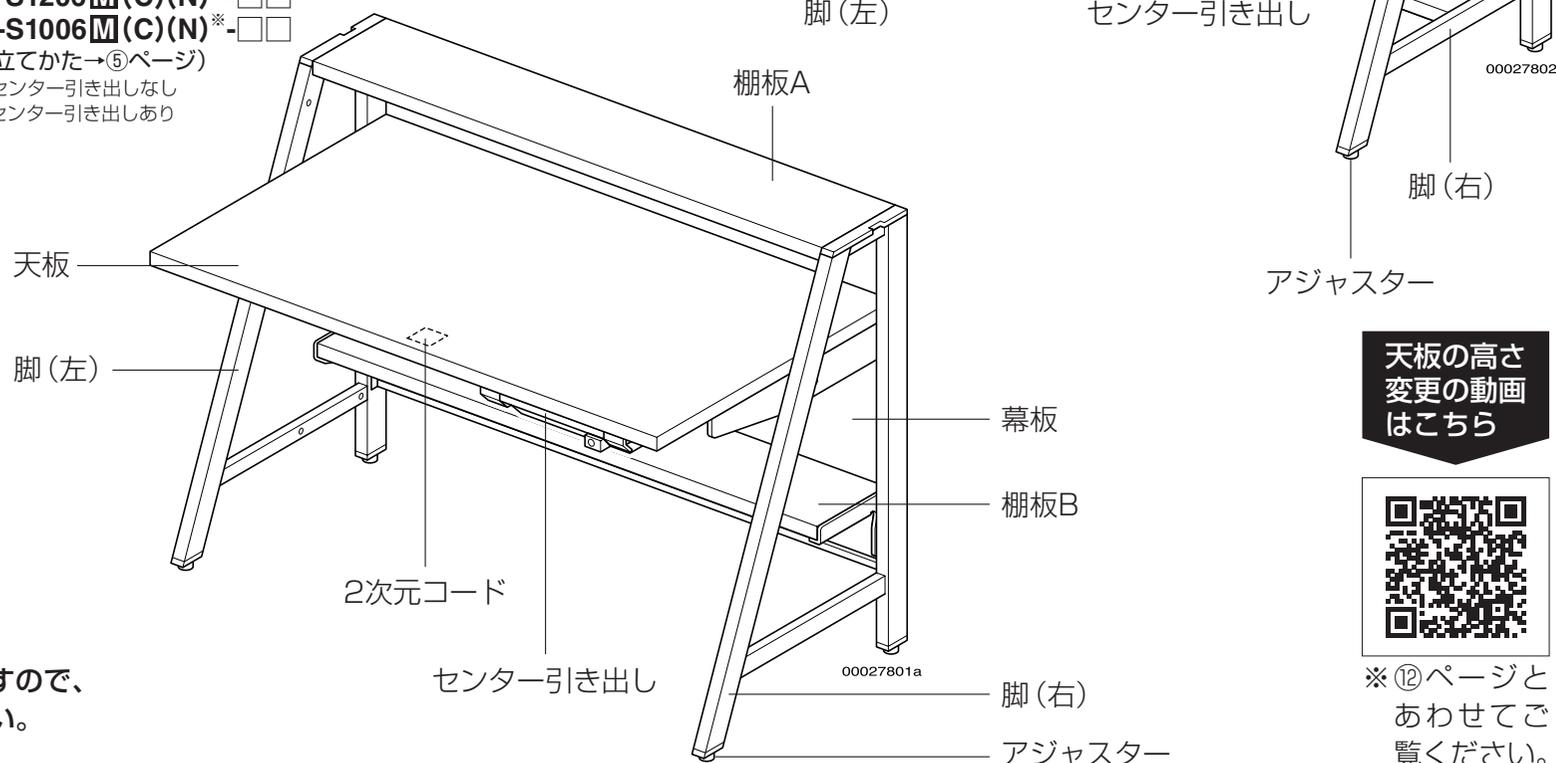
DSH-S1206M(C)(N)※-□□

DSH-S1006M(C)(N)※-□□

(組み立てかた→⑤ページ)

※N：センター引き出しなし

C：センター引き出しあり



天板の高さ
変更の動画
はこちら



※⑫ページと
あわせてご
覧ください。

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

- 製品を廃棄するときは、焼却しないでください。

有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。

製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 床に傾斜や段差のある不安定な場所には設置しないでください。

転倒によるけが・破損の原因になります。

⚠注意

- 健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。

・ この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってご使用ください。

・ この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿（温度28℃、相対湿度50%超が目安）になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。

- 乱暴な取り扱いや、用途以外の使用はしないでください。

けが・破損・故障の原因になります。

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。

誤った手順・方法で組み立てると、けが・破損のおそれがあります。

- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。

転倒や部品の落下によるけが・破損のおそれがあります。

- ストープなど火気を近づけて使用しないでください。

やけど・火災の原因になります。

- 設置の際は、製品の水平を保つように、アジャスターで調節してください。

傾いた状態で設置すると、製品の転倒によるけが・破損のおそれがあります。

- アジャスターは10mm以上出さないでください。

アジャスターが外れて、のせている機器やものの落下によるけが・破損の原因になります。

- 製品を持ち上げてアジャスターを調節するときは、転倒しないように注意してください。また、持ち上げた製品を下ろすときも、手・足をはさまないように注意してください。

けがのおそれがあります。

- 設置の際は、機器のコードをアジャスターが踏み付けていないか確認してください。

アジャスターがコードを踏み付けていると、コードが損傷し、ショート・発火のおそれがあります。



- アジャスターが外れた状態で使用しないでください。

机がぐらついて、のせているものや機器の落下によるけが・破損の原因になります。

- 運動具に使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。（特にお子様にご注意ください。）

転倒・落下・破損によるけがの原因になります。

- 足元棚に足をのせないでください。

足元棚の破損の原因になります。

- 使用していない取付穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）

けがの原因になります。

- センター引き出しの出し入れは、ゆっくり行ってください。

勢いよく行くと、ストッパーの乗り越えや破損によって引き出しが抜け落ち、けがをする可能性があります。

- センター引き出しを出した状態で、上から押さえたり、製品にもたれかかったりしないでください。

製品の転倒によるけが・破損の原因になります。

- のせる機器が天板からはみ出ないようにしてください。

機器にあたって落下し、けが・破損のおそれがあります。

- 製品の上に立ち上がったり、腰を掛けたりしないでください。

転倒や落下によるけがの原因になります。



1.安全上のご注意

- 移設するときは、のせているものや収納物をすべて取り除いてから行ってください。

ものが落下して、けがをするおそれがあります。

- 移設するときは、センター引き出しを抜いてください。

引き出しの飛び出しや落下によるけが・破損のおそれがあります。

- アジャスターを接地させた状態のまま動かさないでください。

製品の転倒によるけがや床を傷つける原因になります。また、アジャスターの破損の原因になります。

- 移設するときは、2人以上で持ち上げてください。

転倒や落下によるけが・破損のおそれがあります。また、引きずりますと、床を傷つけたり、製品の破損のおそれがあります。



- 可動部に注油しないでください。

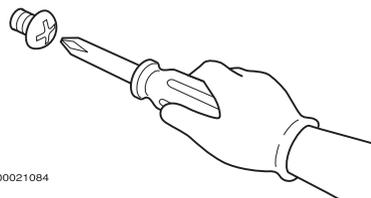
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。



- 製品の分解・改造はしないでください。けが・破損の原因になります。

- ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。

製品の転倒・破損・変形によるけがの原因になります。早めに締め直してください。



- 保守点検などで部品を外されたときは、必ず元通りに取り付けてください。

部品を付け忘れると、転倒によるけがや破損のおそれがあります。

- 部品を付けたり外したりするときは、必ず手袋をつけ、注意しながら作業してください。

けがをするおそれがあります。

- 溶接外れや部品の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

そのまま使用していると、製品の破損によるけがのおそれがあります。

- 製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。

- この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

2.未永くご使用いただくためのご注意

- この製品は室内または屋内用です。屋外での使用や水ぬれは、故障・さび・変色の原因になります。



- 直射日光やストーブなどの熱、冷暖房の強風が直接あたる場所、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。変色・変形の原因になります。

- 収納物が引き出しの後部や側面から、こぼれ落ちないようにしてください。

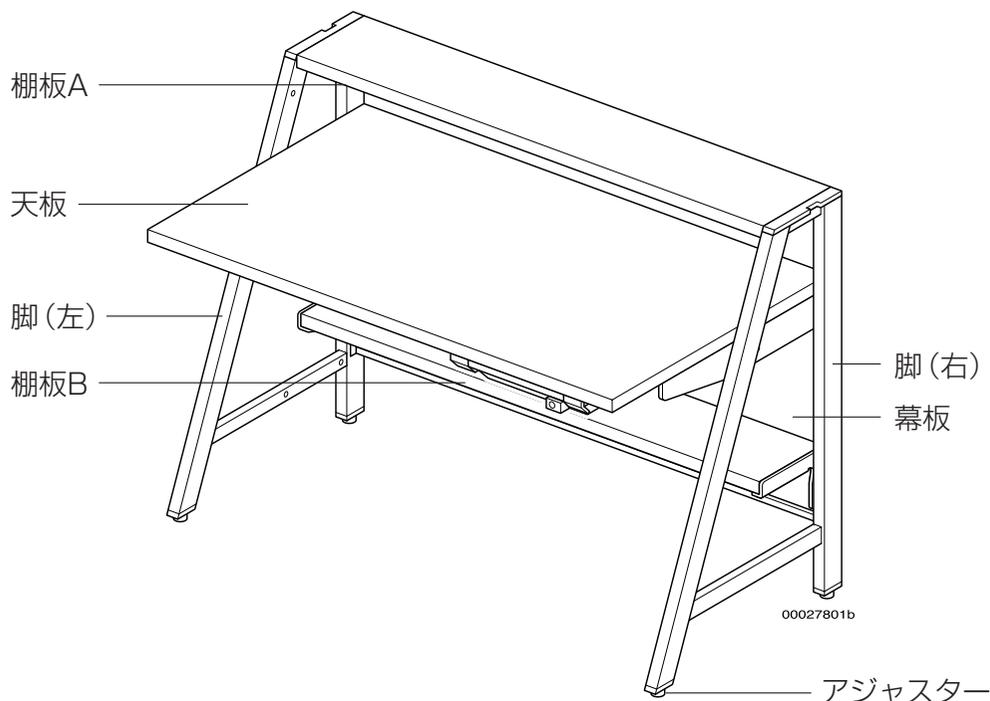
引き出しの出し入れや施錠の妨げになり、破損・故障のおそれがあります。

- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

3.組立上の注意と部品の確認

[使用工具:L型六角レンチ (対辺4mm)]

図は、DSH-S1206MC-□□ (H720) です。

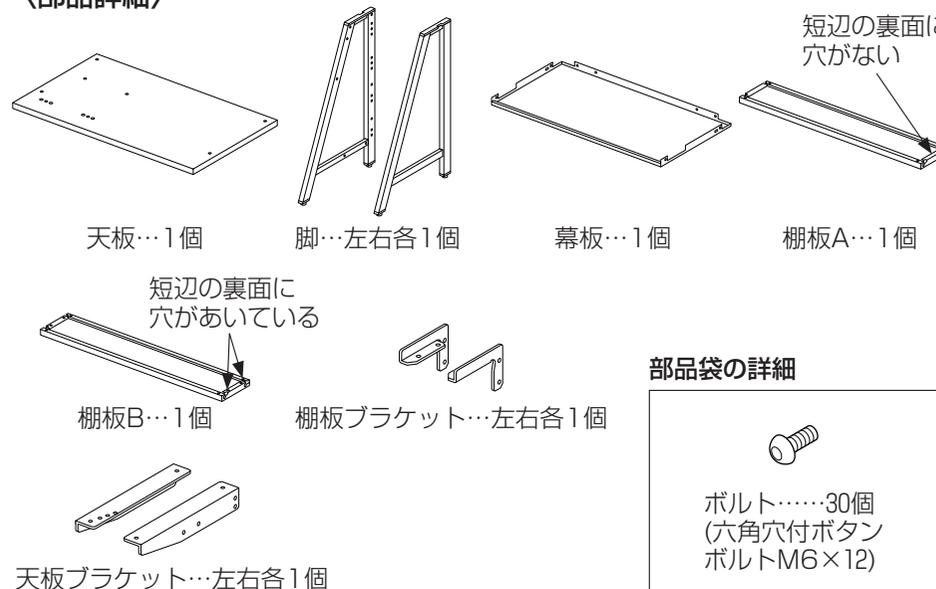


⚠注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。誤った手順・方法で組み立てると、けが・破損のおそれがあります。
- 製品の組み立てをするときは、必ず手袋を着用し、注意しながら作業してください。けがをするおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。転倒や部品の落下によるけが・破損のおそれがあります。
- お客様の組み立て不良による修理および部品交換は、有料になりますので、あらかじめご了承ください。

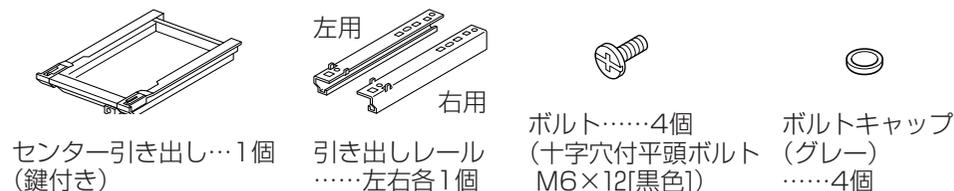
- 組み立てる前に、箱から各部品を取り出し、下記の「部品詳細」で形状と数量を確認してください。
 - 説明図の順(1、2…)に組み立ててください。
- ※組立に使うボルト類がわかりにくい場合は、実物のボルト類を、「使用ボルト類」の図に当ててご確認ください。「使用ボルト類」の図は、ボルト類を実物大で表示しています。

〈部品詳細〉

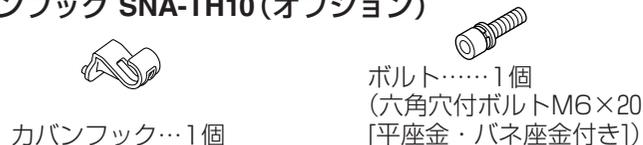


センター引き出し (オプション)

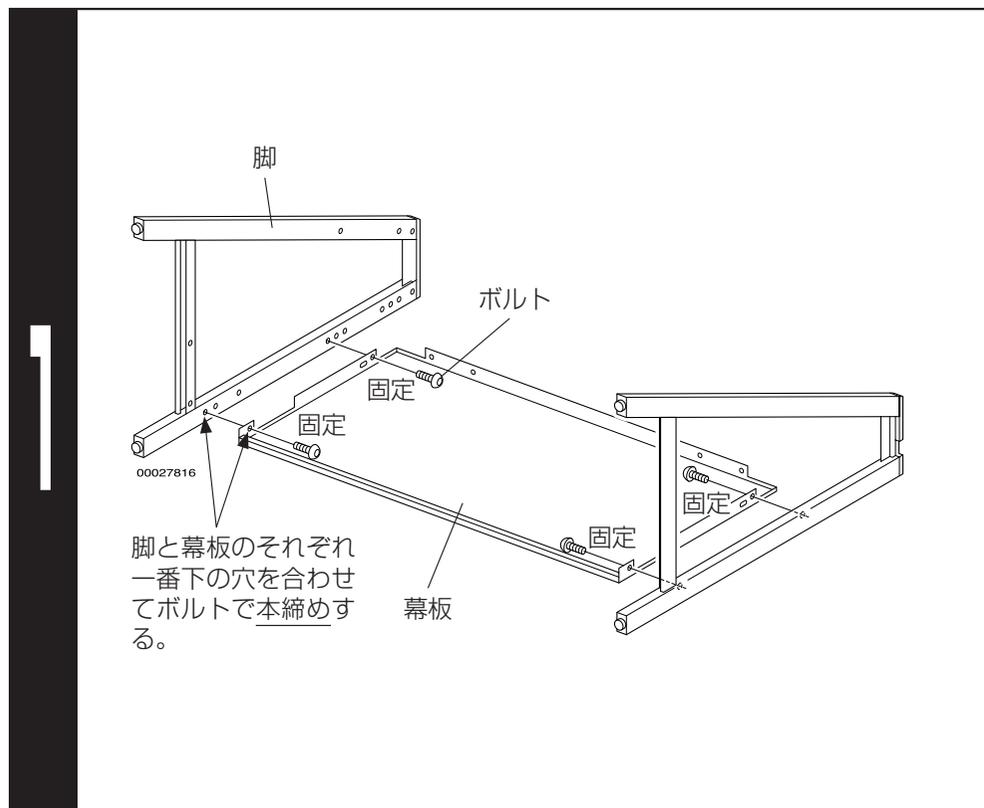
(対象品番: DSH-S1206GC-□□・DSH-S1006GC-□□・DSH-S1206MC-□□・DSH-S1006MC-□□)



カバンフック SNA-TH10 (オプション)



4.H720の組み立てかた (施工作业される方がお読みください)

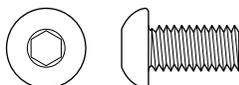


脚と幕板の取り付け

- ❶ 幕板を、平坦な床面に敷いた保護材などの上に置いてください。
- ❷ 脚を、幕板にボルト(4個)で本締めしてください。

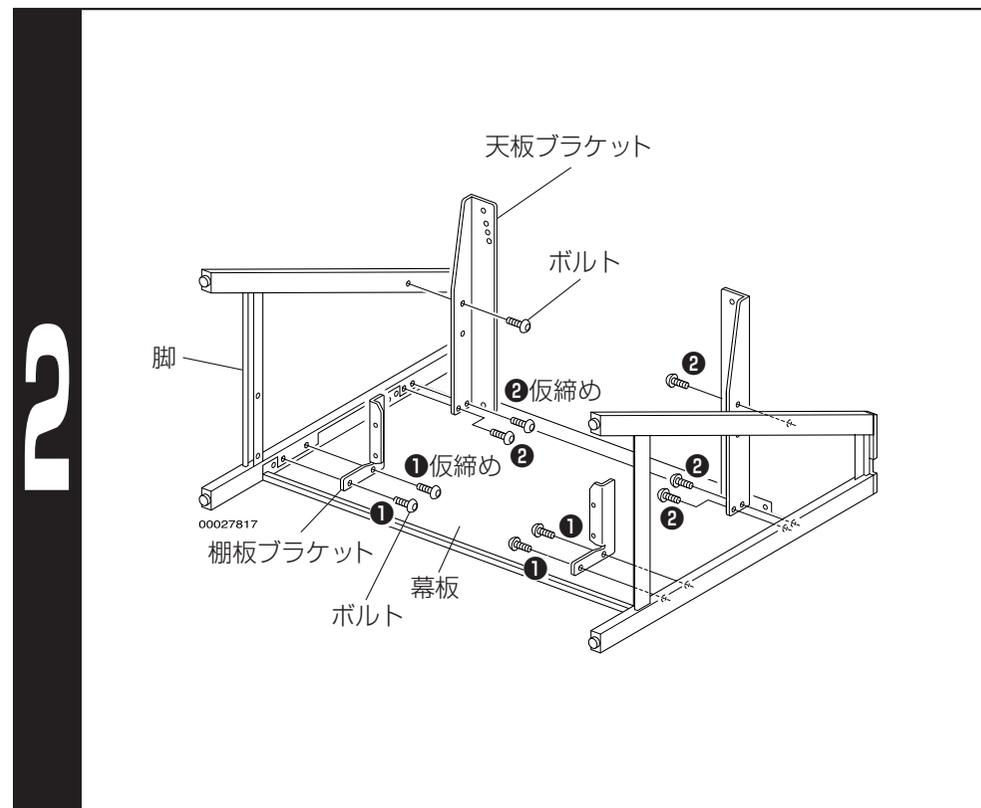
〈使用ボルト類〉

ボルト
(六角穴付ボタンボルトM6×12)



00027813

※ボルトの図は実寸法です。



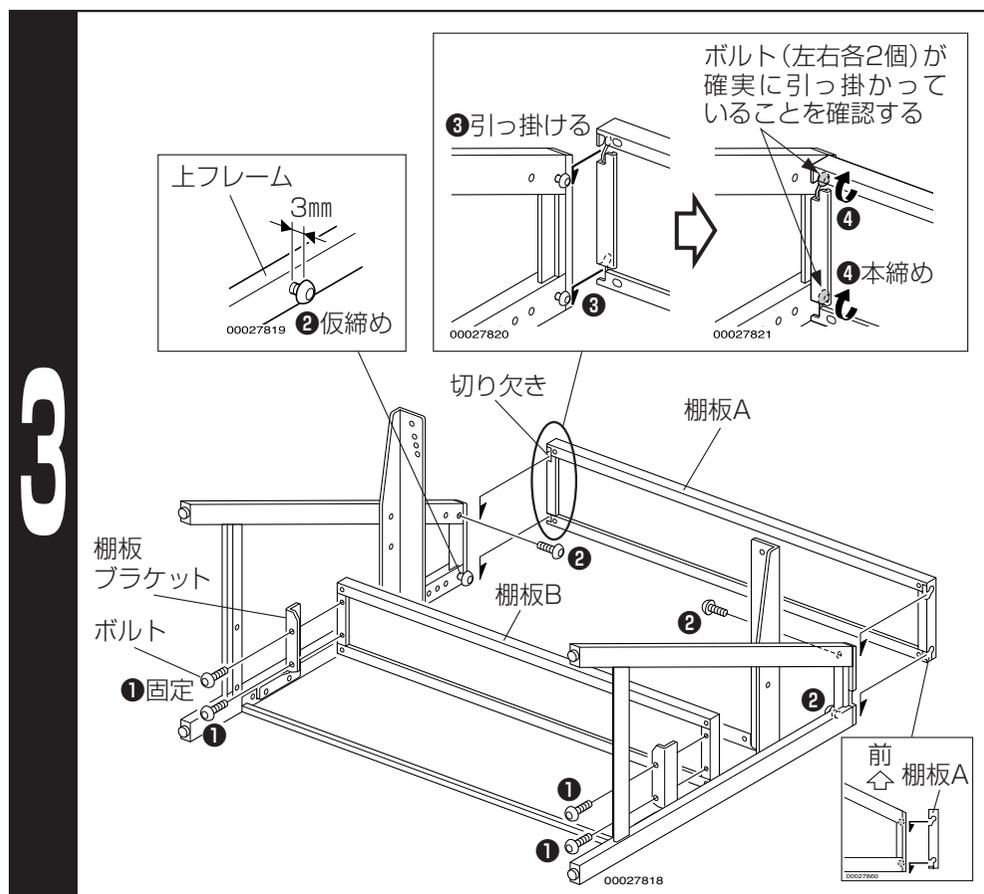
1. 棚板 Bracket の取り付け

棚板 Bracket を、脚にボルト(4個)で仮締めしてください。

2. 天板 Bracket の取り付け

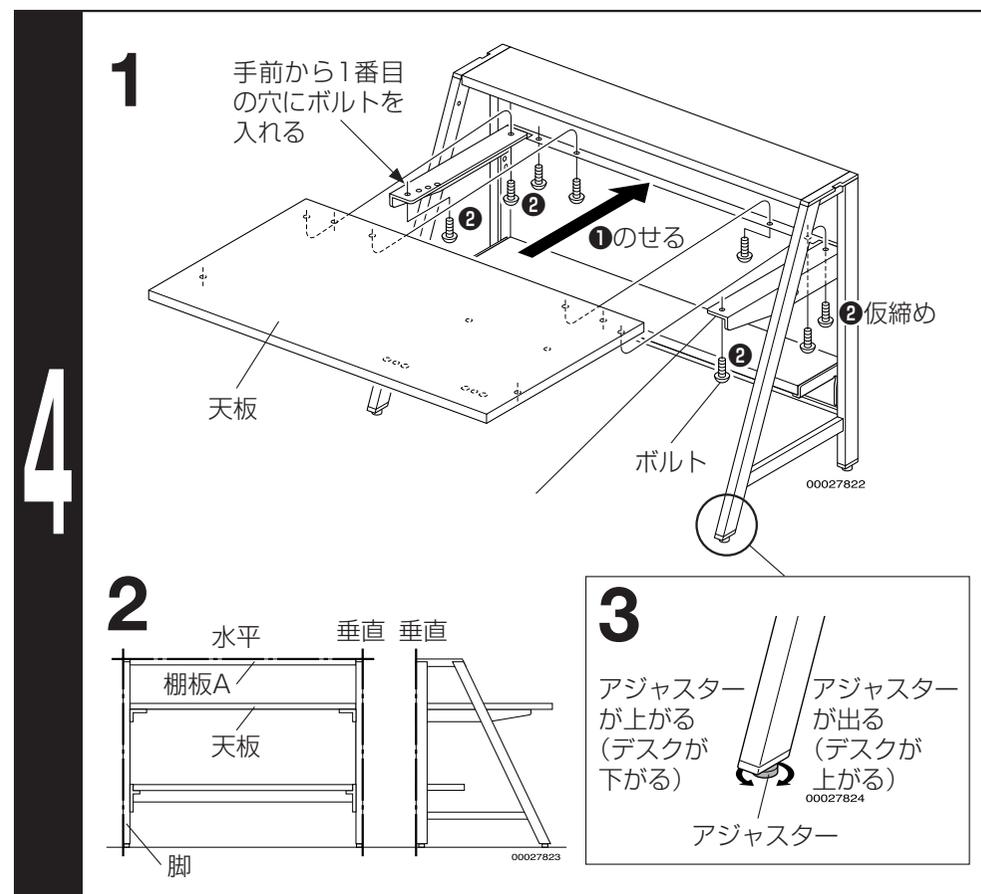
天板 Bracket を、脚と幕板にボルト(6個)で仮締めしてください。

4.H720の組み立てかた (施工作业される方がお読みください)



棚板A・Bの取り付け

- ① 棚板Bを、棚板ブラケットにのせて、ボルト(4個)で本締めしてください。
- ② 脚の上フレームに、ボルト(4個)を仮締めしてください。
- ③ 棚板Aの両端の切り欠きを、②のボルトに合わせて差し込んでください。
- ④ ②のボルトを本締めしてください。



1. 天板の取り付け

- ① デスク本体を、ゆっくり起こしてください。
- ② 天板を、天板ブラケットと幕板上面にゆっくりにのせて、ボルト(8個)で仮締めしてください。

2. ボルトの本締め

- ① 脚と棚板A、天板との水平・垂直を確認し、棚板Aと脚上面に段差がないことを確認してください。

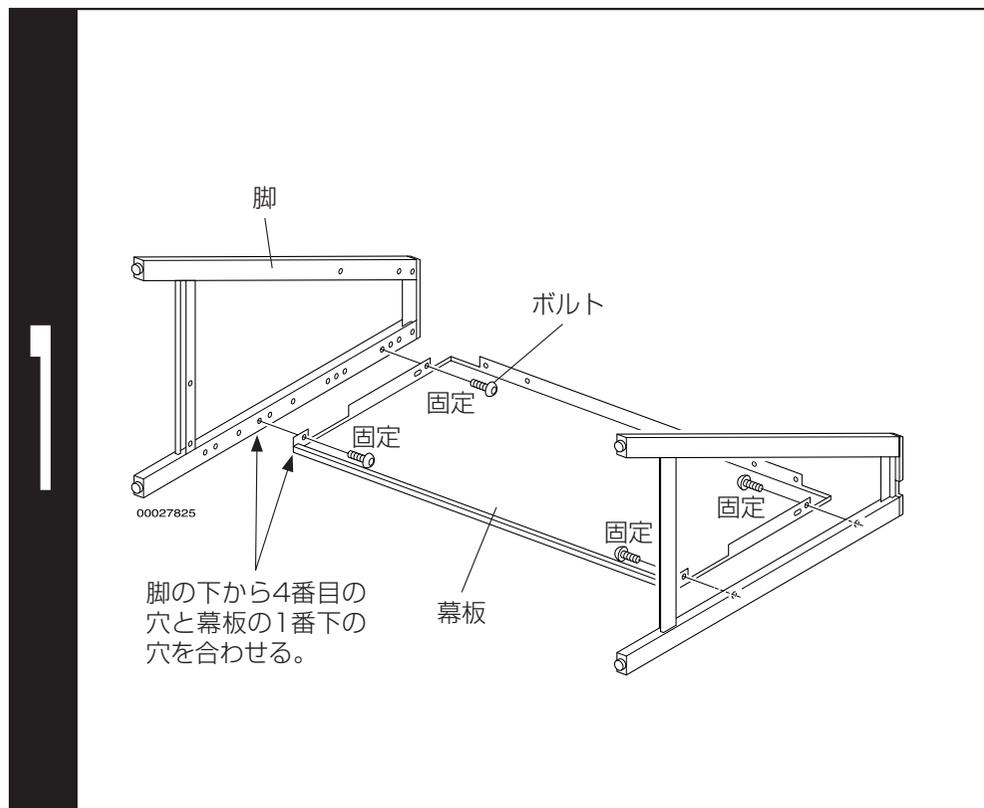
※異常がある場合、左記「3」の③

- ④をやり直して、段差ができないように調整してください。
- ② 仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。

3. アジャスター調節

デスクと床面にガタツキがあるときは、アジャスターを回して調節してください。

5.H900の組み立てかた (施工作业される方がお読みください)



脚と幕板の取り付け

- ❶ 幕板を、平坦な床面に敷いた保護材などの上に置いてください。
- ❷ 脚を、幕板にボルト(4個)で本締めしてください。

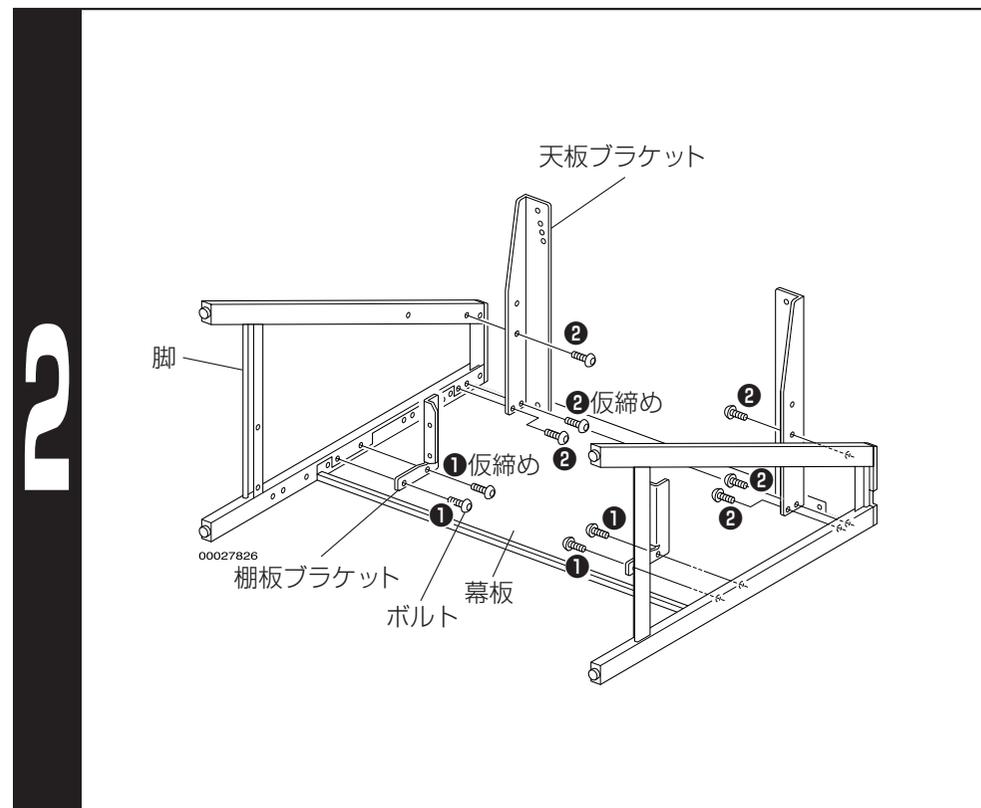
〈使用ボルト類〉

ボルト
(六角穴付ボタンボルトM6×12)



00027813

※ボルトの図は実寸法です。



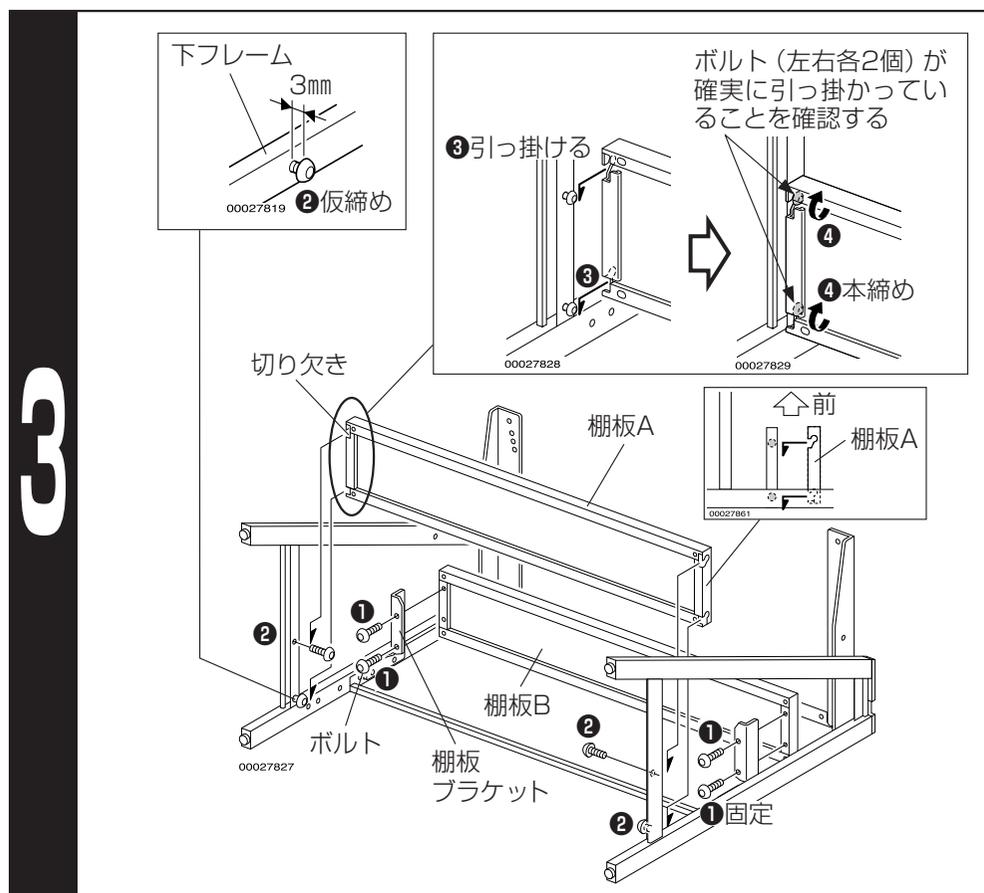
1. 棚板ブラケットの取り付け

棚板ブラケットを、脚にボルト(4個)で仮締めしてください。

2. 天板ブラケットの取り付け

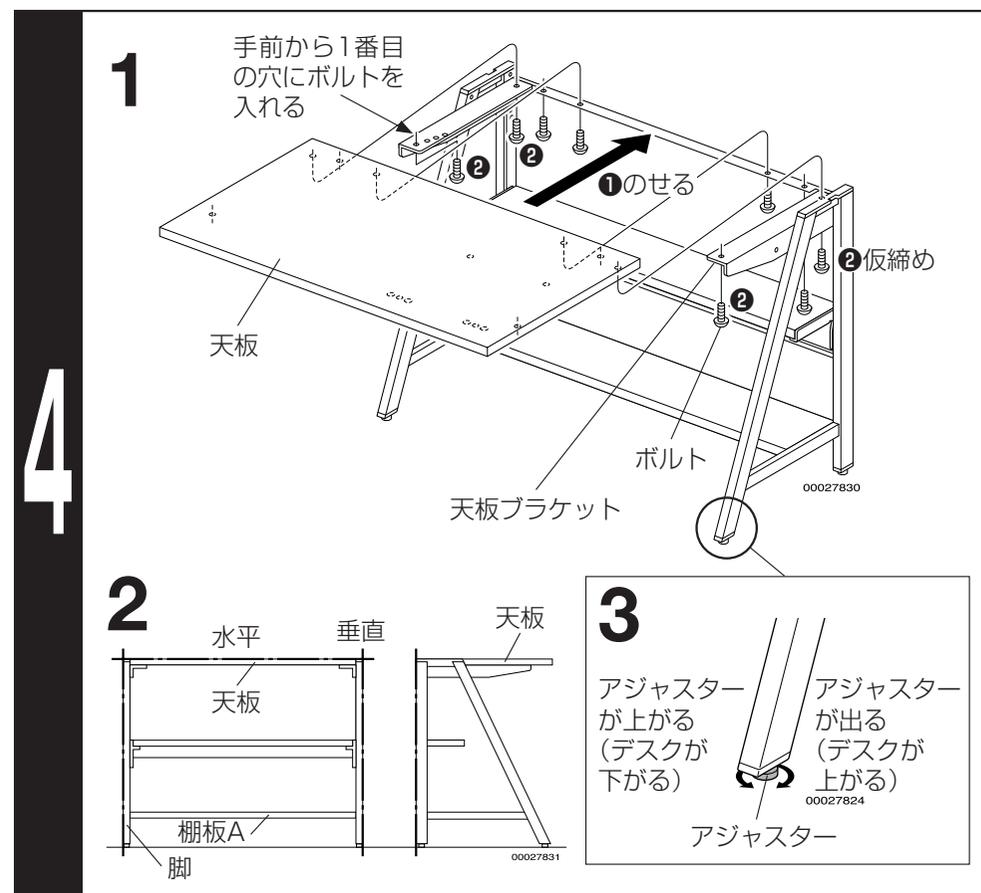
天板ブラケットを、脚と幕板にボルト(6個)で仮締めしてください。

5.H900の組み立てかた (施工作业される方がお読みください)



棚板A・Bの取り付け

- ① 棚板Bを、棚板ブラケットにのせて、ボルト(4個)で本締めしてください。
- ② 脚の下フレームに、ボルト(4個)を仮締めしてください。
- ③ 棚板Aの両端の切り欠きを、②のボルトに合わせて差し込んでください。
- ④ ②のボルトを本締めしてください。



1. 天板の取り付け

- ① デスク本体を、ゆっくり起こしてください。
- ② 天板を、天板ブラケットと幕板上面にゆるりのせて、ボルト(8個)で仮締めしてください。

2. ボルトの本締め

- ① 脚と棚板A、天板と幕板とのそろい、水平・垂直を確認し、棚板Aに傾きやガタツキがないことを確認してください。

※異常がある場合、左記「3」の③

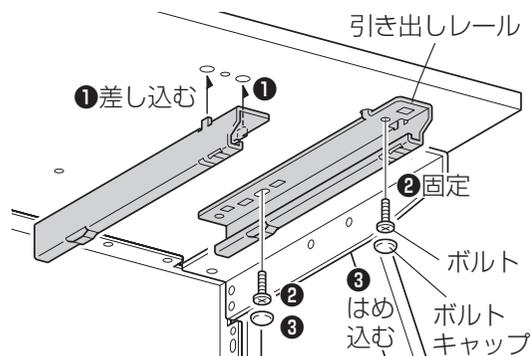
- ④をやり直して、傾きやガタツキができないように調整してください。
- ② 仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。

3. アジャスター調節

- デスクと床面にガタツキがあるときは、アジャスターを回して調節してください。

6. センター引き出し (オプション) の組み立てかた

- ① 引き出しレールを、天板裏面にボルトで固定してください。
- ② ボルトキャップをボルトにはめ込んでください。



〈使用するボルトと工具〉

ボルト……4個
(十字穴付平頭ボルトM6×12
[黒色])



00027814

※ボルトの図は実寸法です。

⊕ドライバー
(No.2)

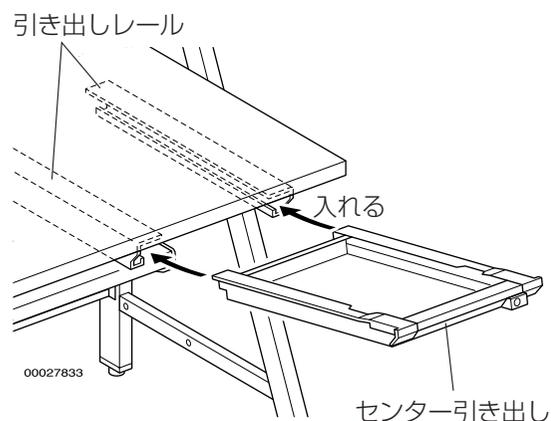


00027859

- ③ センター引き出しを、引き出しレールに合わせて入れてください。

〈引き出しの取り外しかた〉

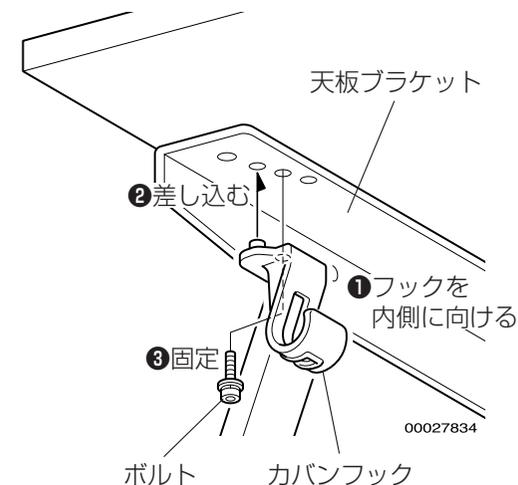
⑩ ページ「取り外しかた」の要領で引き出しを取り外してください。



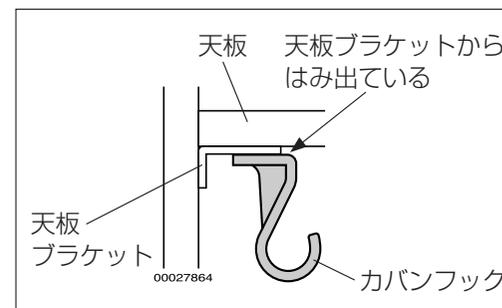
00027833

7. カバンフック (オプション) の組み立てかた

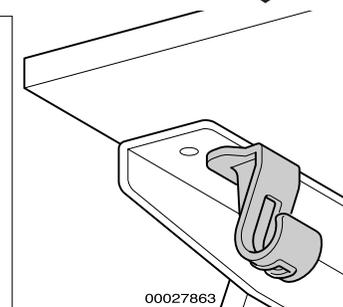
カバンフックを内側に向けて、脚 (左用) の天板ブラケットにボルトで固定してください。
※耐荷重：49N (約5kgf)



00027834



00027864



〈使用するボルトと工具〉

ボルト……1個
(六角穴付ボルトM6×20
[平座金・バネ座金付き])



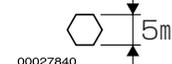
00027815

※ボルトの図は実寸法です。

L型六角レンチ
(対辺5mm)



00027854



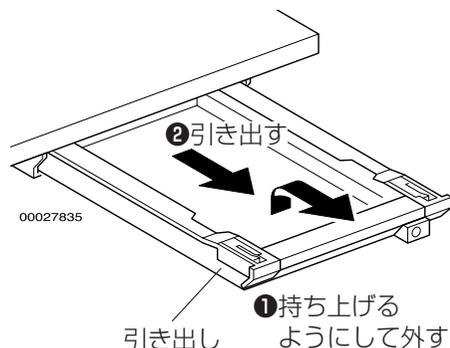
00027840

8. 使いかた (センター引き出しのみ)

① 引き出しの取り外し・取り付けかた

〈取り外しかた〉

- ① 引き出しを、いっぱい (ストッパー位置) まで水平に引き出してください。
- ② 引き出しを持ち上げるようにして抜いてください。



〈取り付けかた〉

- ⑨ ページ「6. センター引き出し (オプション)」の③の要領で行ってください。

⚠️ 注意

引き出しを斜めに入れたり、無理に押し入れないでください。変形や引き出し機構の故障の原因になります。

② シリンダー錠の使いかた

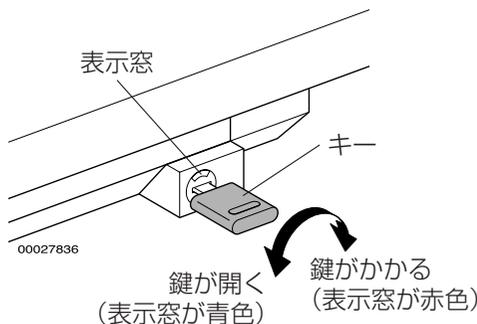
錠の状態 (かけた・かけていない) を、錠穴上部の表示窓で色表示します。

〈錠のかけかた (施錠)〉

錠穴にキーを差し込み、時計回りに180°回すと表示窓が赤色になり、錠がかかります。

〈錠の開けかた (解錠)〉

錠穴にキーを差し込み、反時計回りに180°回すと表示窓が青色になり、錠が開きます。



インロック防止機能について

インロック防止機能とは、誤って錠を引き出しに入れたまま、引き出しを閉じて施錠してしまうことを防止する機能です。



引き出しをもう一度引き出し、キーを解錠してください。
引き出しを完全に閉めてから、施錠してください。

9. お手入れのしかた

① お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
 1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

■ 消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、以下をご覧ください。

https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf



汚れを落とすときの注意

水にぬれたままにしないでください。また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

10. 故障かな?と思ったら (不調診断)

こんなときは	こう処置してください
● 製品がグラグラ (ガタガタ) する。	各部のボルトがゆるんでいませんか。ゆるんでいる場合は、締め直してください。(「4.H720の組み立てかた」または「5.H900の組み立てかた」を参照)
	アジャスターを調節して、製品を水平にしてください。

※ 以上の処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

11.仕様

デスク

品名		INVENT-SHデスク			
品番	DSH-S	1206G	1206M	1006G	1006M
外寸法 (mm)	幅	1200		1000	
	奥行き	600			
	高さ	900			
	天板の高さ	900	720	900	720
有効内寸法 (mm)	机上棚	幅：1155、奥行き：195		幅：955、奥行き：195	
	足元上棚	幅：1145、奥行き：195、高さ：322		幅：945、奥行き：195、高さ：322	
	足元下棚	幅：1155、奥行き：195、高さ：312		幅：955、奥行き：195、高さ：312	
耐荷重	天板	588N (約60kgf)			
	机上棚	392N (約40kgf)			
	足元棚	392N (約40kgf)			
素材	天板	表面材：メラミン化粧板、エッジ：樹脂押出材 (ABS)、 芯材：パーティクルボード、天板厚み：25mm			
	幕板	スチール (焼付塗装)			
	机上棚、足元棚	スチール (焼付塗装)			
	脚	支柱：スチール角パイプ (40×20、焼付塗装)、 脚上キャップ：樹脂 (ABS)、アジャスター：樹脂 (ナイロン)			

⚠注意

● 耐荷重 (上表の数値) を超えて、ものを置かないで (入れないで) ください。

- 故障や変形の原因になります。
- 落下によるけがや破損の原因になります。

センター引き出し (オプション)

有効内寸法 (mm)	幅：225、奥行き：332、高さ：45	
素材	引き出し本体	スチール (焼付塗装)
	引き出しレール	スチール (焼付塗装)

カバンフック (オプション)

外寸法 (mm)	幅：46、奥行き：43、高さ：64
素材	樹脂 (PMMA)

【家庭用品品質表示法に基づく表示】

品番	DSH-S	1206G	1206M	1006G	1006M
外形寸法 (mm)	幅	1200		1000	
	奥行き	600			
	高さ	900			
	甲板の高さ	900	720	900	720

甲板の表面材 合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)

表面加工 脚部：ポリエステル塗装
幕板：ポリエステル塗装
棚板：ポリエステル塗装

取扱い上の注意 直射日光および熱をさけてください
加熱した鍋、湯沸しなどを直接置かないでください

コクヨ株式会社
大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

12.天板の高さ変更のしかた (製品を購入された方がお読みください)

H900からH720に変更する場合

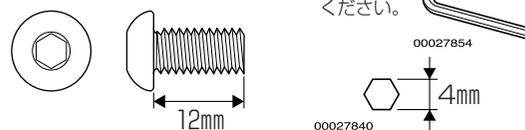
⚠注意

- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
転倒や落下によるけがや破損のおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず片方の脚ごとに行ってください。
転倒や落下によるけがや破損のおそれがあります。

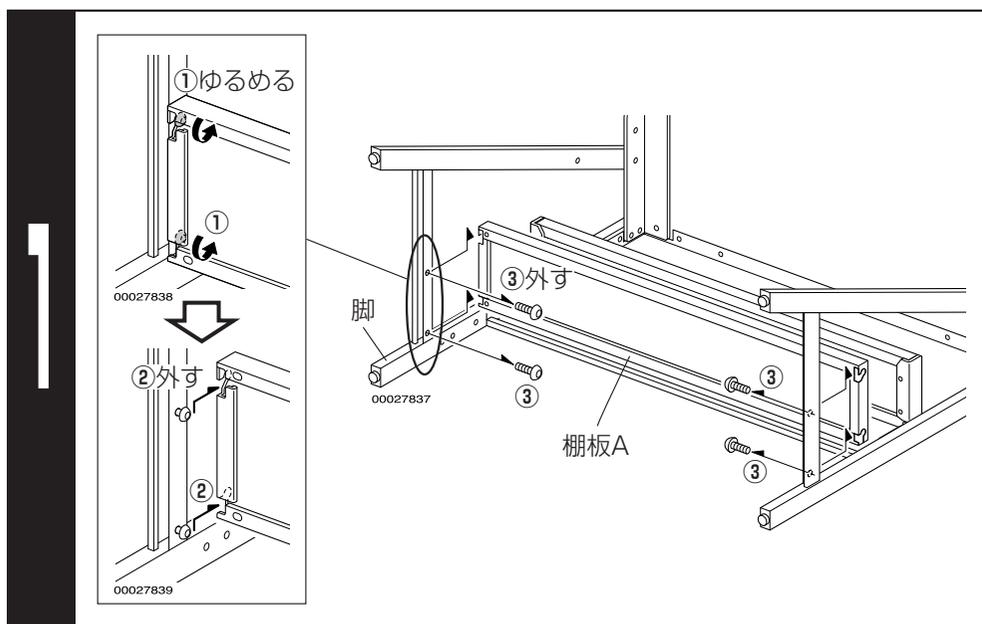
〈使用するボルトと工具〉

ボルト (六角穴付ボタンボルトM6×長さ12mm)
※ボルトの図は実寸法です。

L型六角レンチ (対辺4mm)
※別途ご用意ください。

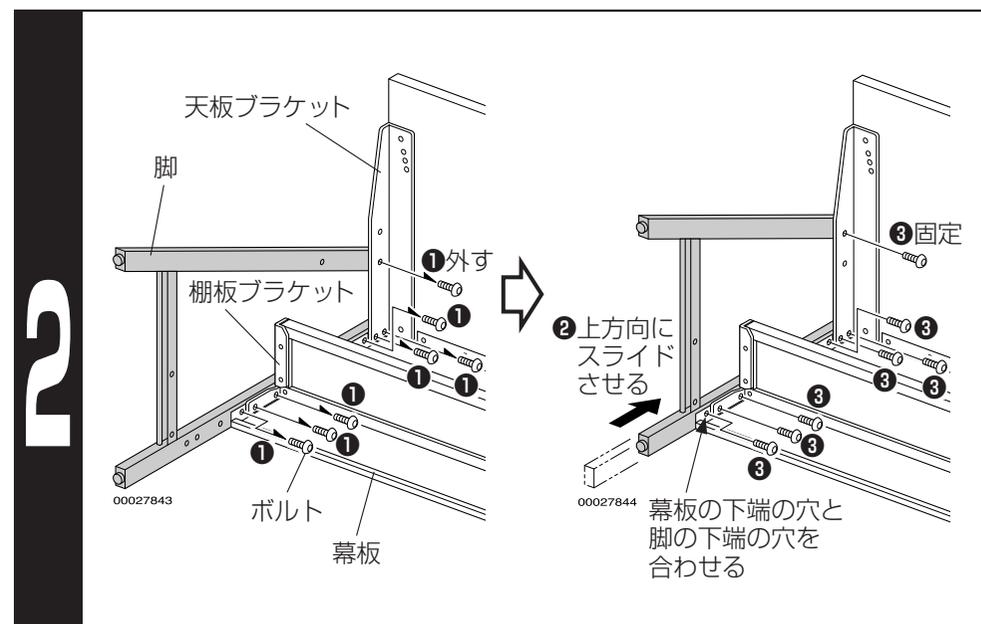


天板の高さ変更の動画はこちら



棚板Aを取り外す

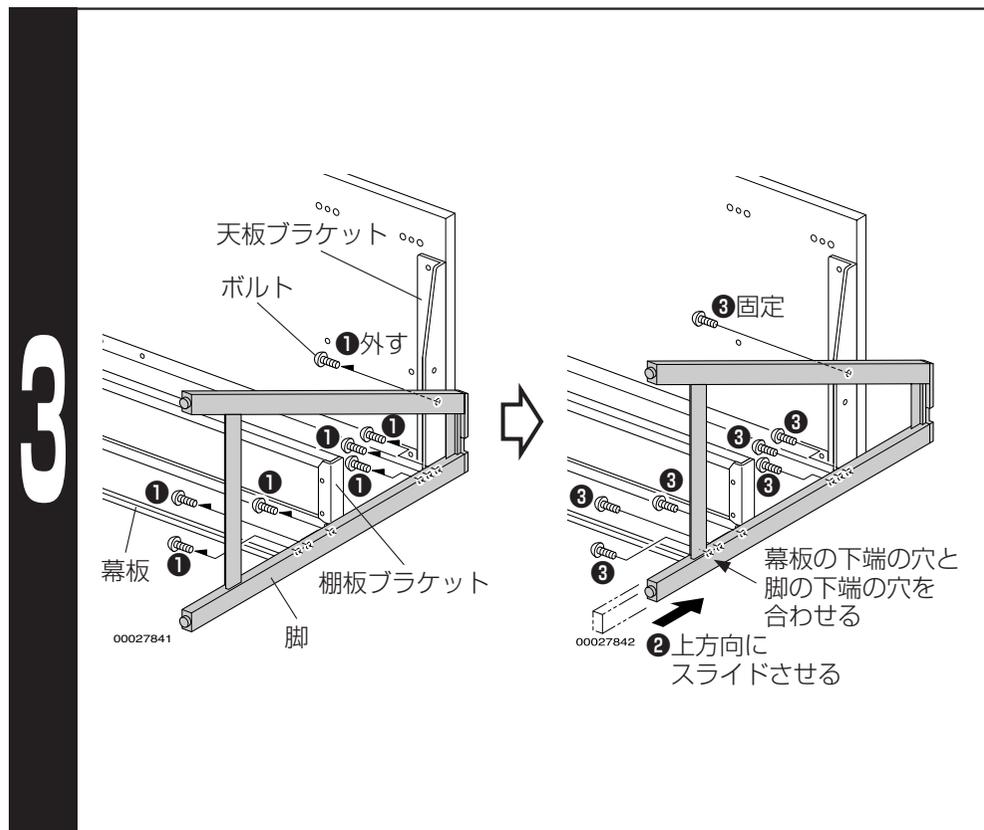
- ①センター引き出し (オプション) がある場合、⑩ページ「引き出しの取り外し・取り付けかた」要領で、センター引き出しを取り外してください。
- ②カバンフック (オプション) に引っ掛けているものを取り外してください。
- ③デスク本体の手前側の脚を持ちながら、平坦な床面に敷いた保護材などの上にゆっくり倒してください。
- ④棚板Aのボルト (4個) をゆるめて棚板Aを脚から外し、ボルトを外してください。



片方の脚の位置を変更する

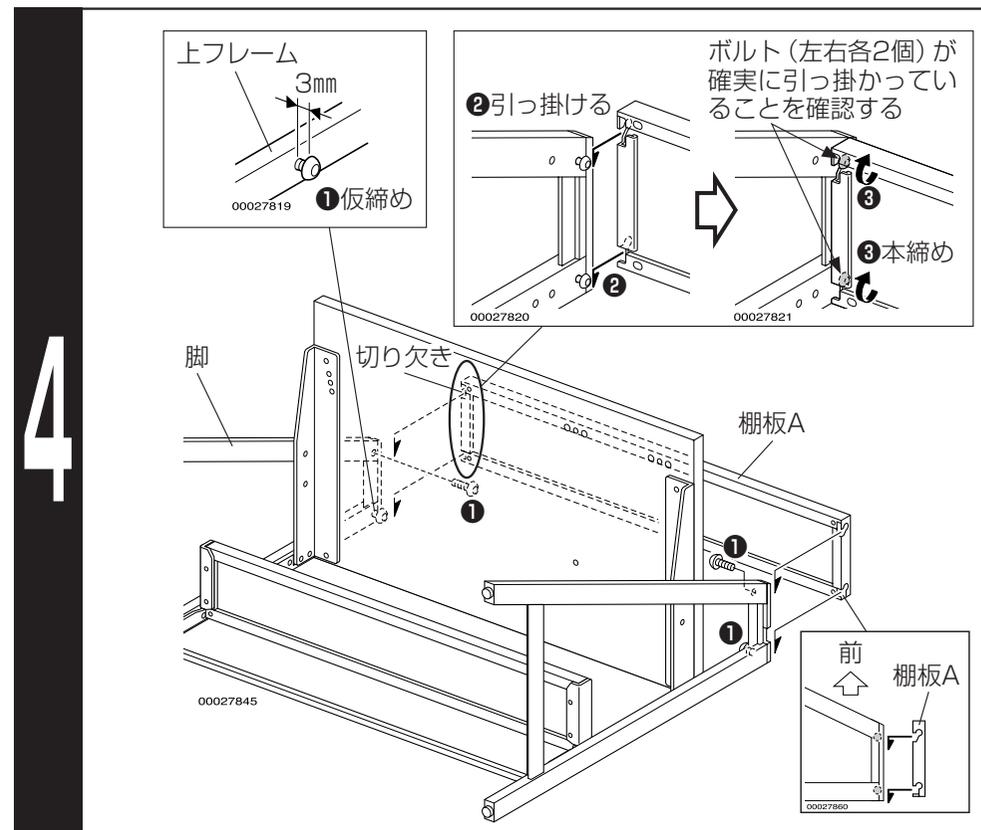
- ①片方の脚のボルト (7個) を外して、幕板・天板ブラケット・棚板ブラケットから外してください。
- ②脚を上方向にスライドさせて、幕板の下端の穴と、脚の下端の穴を合わせてください。
- ③脚と幕板、天板ブラケット、棚板ブラケットを、①で外したボルトで固定してください。

12.天板の高さ変更のしかた (製品を購入された方がお読みください)



もう一方の脚の位置を変更する

⑫ページ「2」の要領で、反対側の脚の位置を変更してください。



棚板Aを取り付ける

- ①脚の上フレームに、⑫ページ「1」で外したボルト(左右各2個)を仮締めしてください。
- ②棚板Aの両端の切り欠きを、①のボルトに合わせて差し込んでください。
- ③棚板Aを押さえながら、①のボルトを本締めしてください。

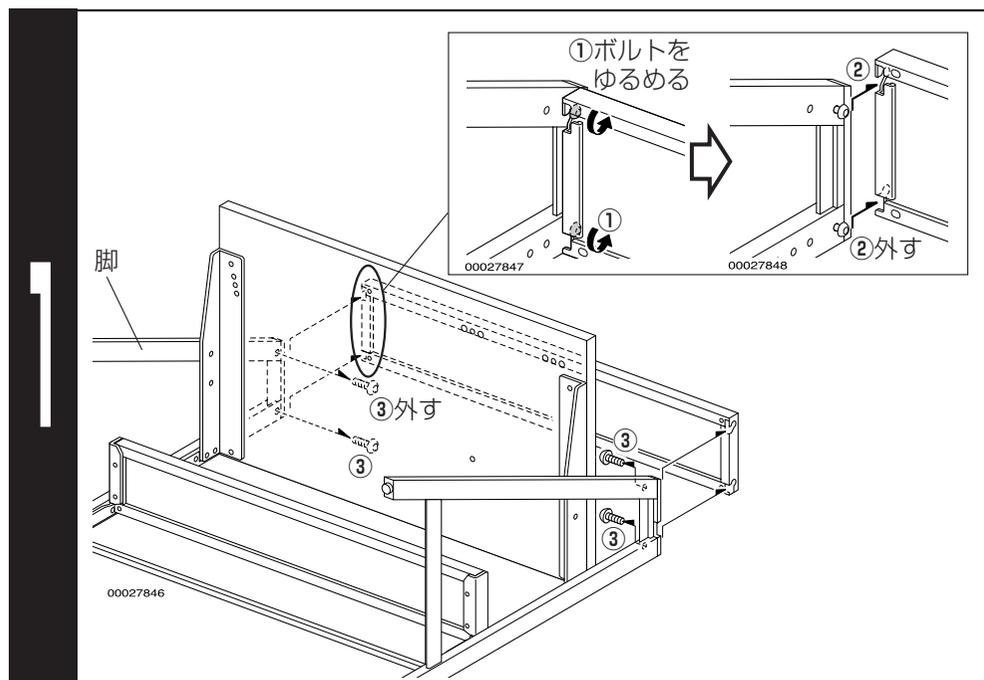
- ④デスク本体の脚を持ちながら、ゆっくり起こしてください。
- ⑤ボルトの締め忘れによるガタツキなどが無いことを確認してください。
※棚板Aに傾きやガタツキがある場合、②③をやり直して、傾きやガタツキができないように調整してください。
必要に応じてアジャスターで調整したら、作業は完了です。

12.天板の高さ変更のしかた (製品を購入された方がお読みください)

H720からH900に変更する場合

⚠注意

- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
転倒や落下によるけがや破損のおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず片方の脚ごとに行ってください。
転倒や落下によるけがや破損のおそれがあります。



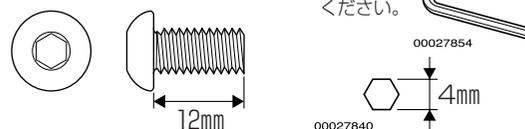
棚板Aを取り外す

- ①センター引き出し (オプション) がある場合、⑩ページ「引き出しの取り外し・取り付けかた」要領で、センター引き出しを取り外してください。
- ②カバンフック (オプション) に引っ掛けているものを取り外してください。
- ③デスク本体の手前側の脚をもちながら、平坦な床面に敷いた保護材などの上にゆっくり倒してください。
- ④棚板Aのボルト (4個) をゆるめて棚板Aを脚から外し、ボルトを外してください。

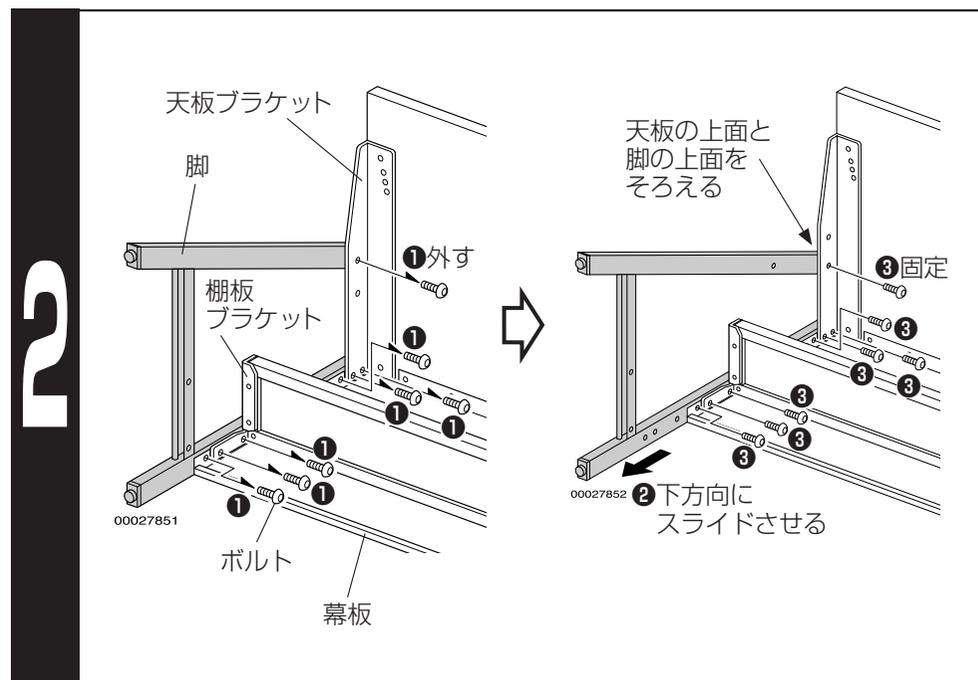
〈使用するボルトと工具〉

ボルト (六角穴付ボタンボルトM6×長さ12mm)
※ボルトの図は実寸法です。

L型六角レンチ (対辺4mm)
※別途ご用意ください。



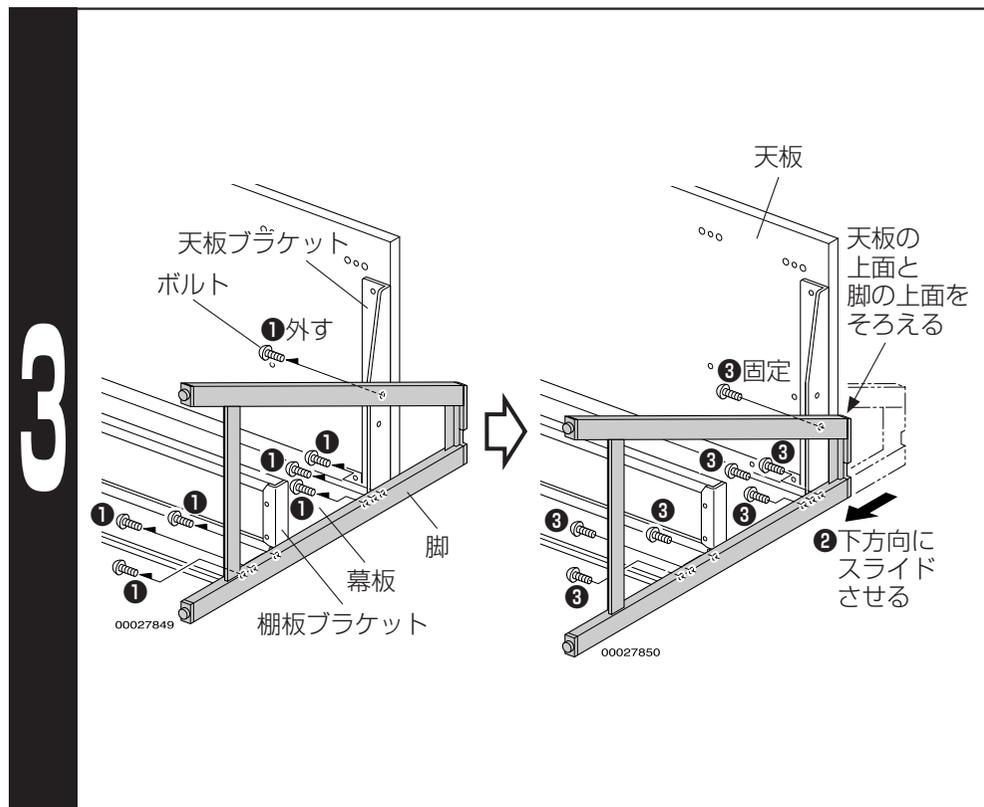
天板の高さ変更の動画はこちら



片方の脚の位置を変更する

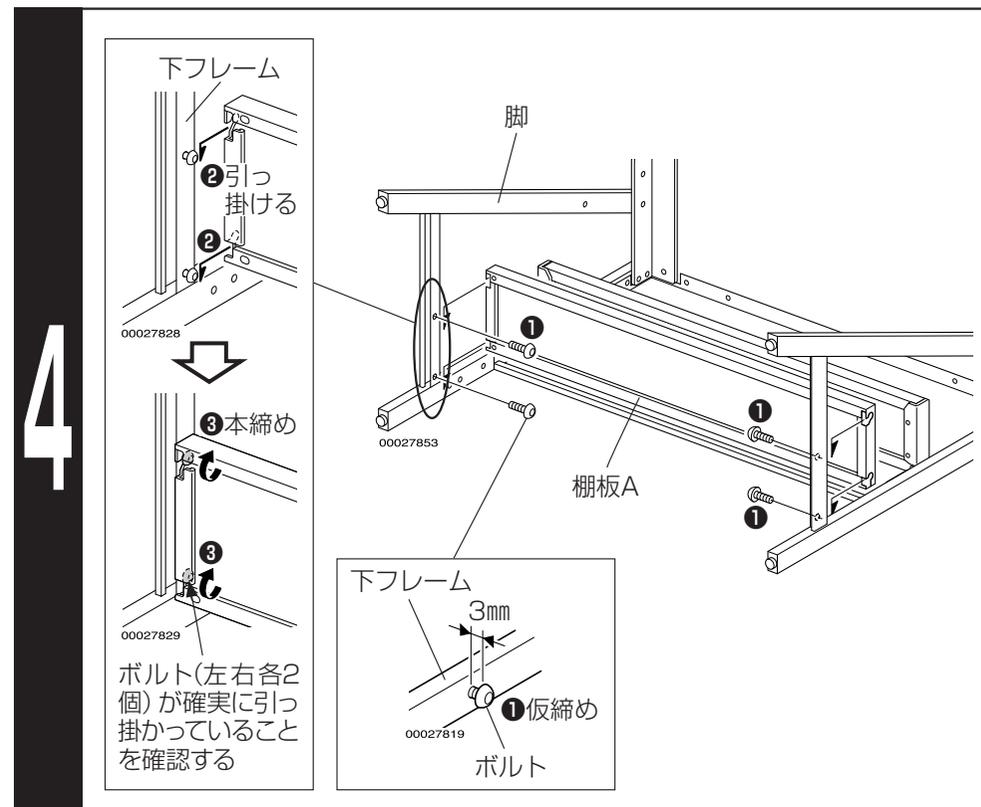
- ①片方の脚のボルト (7個) を外して、幕板・天板ブラケット・棚板ブラケットから外してください。
- ②脚をスライドさせて、天板の上面と脚の上端を揃えてください。
- ③脚と幕板、天板ブラケット、棚板ブラケットを、①で外したボルトで固定してください。

12.天板の高さ変更のしかた (製品を購入された方がお読みください)



もう一方の脚の位置を変更する

⑭ページ「2」の要領で、反対側の脚の位置を変更してください。



棚板Aを取り付ける

- ①脚の下フレームに、⑭ページ「1」で外したボルト(左右各2個)を仮締めしてください。
- ②棚板Aの両端の切り欠きを、①のボルトに合わせて差し込んでください。
- ③棚板Aを押さえながら、①のボルトを本締めしてください。

- ④デスク本体の脚を持ちながら、ゆっくり起こしてください。
- ⑤ボルトの締め忘れによるガタツキなどが無いことを確認してください。
※棚板Aに傾きやガタツキがある場合、②③をやり直して、傾きやガタツキができないように調整してください。
必要に応じてアジャスターで調整したら、作業は完了です。

■保証について

〈保証内容のご確認とお願い〉

●この取扱説明書(本書とする)は、記載内容(無料修理規定)に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

●無料修理を受けられる場合は、本書と「ご購入明細書」の両方が必要になります。

お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、本書とともに大切に保管してください。

※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書(製品明細の記載があるもの)」のことで、

〈保証期間について〉

●保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザークロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間(週5日として1日8時間)の労働時間を想定しています。

●電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。
----	------	--------------------------------

お客様の個人情報の利用について

ご購入明細書に記入されている、お客様の個人情報は保証期間内の修理・交換活動にのみ使用し、それ以外の目的に利用したり、第三者に提供することは一切ございません。

〈無料修理規定〉

1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。

その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室へご相談ください。

3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。

4.保証期間内でも以下の場合には有料となりますのでご了承ください。

(イ)本書、およびご購入明細書のご提示が無い場合

(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合

(ハ)消耗部品(弊社指定部品)の交換

(ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合

(ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損

(ヘ)故意・過失に関係なく、使用上の誤りによる故障または破損

(ト)加工・改造、不当な修理による故障または破損

(チ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損

(リ)使用上の消耗により発生する異音などの現象変質またはさびかびの発生

(ヌ)外観の傷・へこみ・変形や再現のできない不良

(ル)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象(におい、音鳴りや振動など)

5.ご購入の場合は、事前にお買い上げの販売店、またはお客様相談室までご相談ください。

6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。

7.本書およびご購入明細書は、再発行致しませんので大切に保管してください。

コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL <https://www.kokuyo.co.jp/>

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル(全国共通)

お客様相談室 ☎ 0120-201-594

受付時間: 9時~17時(土日祝日・年末年始・夏期休業中を除く)